

平成 29 年度

# 京都府食育推進行動計画

## 実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット  
なす坊



京都府広報監  
まゆまる

平成30年7月

京都府

1 取組一覧（実績）


担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策								推進計画の目標 の項目番号											
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの		食品ロス										
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者																
農林水産部	食の安心・安全推進課	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催	4	A	○																		
		子ども用調理器具貸出事業の実施	4	A	○																		
		食農体験農場の開設推進	4	A	○																		
		子ども達の自発的な学びと実践につながる食育マンガの作成	5	A	○																		
		府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ	5	A	○																	2	
		京都における季節の行事食などの研修会の実施	5	A																			11
		きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施	6	A	○	○					○												12
		食育シンポジウム等の開催	6	A	○	○	○	○			○	○	○										
		実践型食育講演会の開催	7	A	○	○	○	○			○	○											○
		食育団体が連携した食育活動の推進	7	A	○	○	○	○															
		「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	8	B		○	○	○															4
		京野菜ランドによる宅配事業への支援	8	A				○					○										10
		食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催	8	A							○	○	○										5
		食の府民大学の講義の充実	9	A							○	○	○	○									7
		食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催	9	A							○	○	○										
		リスクコミュニケーション等の開催	10	A							○	○	○										
		食品ロス削減府民会議の開催	10	A																			○
		食育強化月間における関係団体と連携した啓発	11	A	○	○	○	○			○	○	○	○									
		食のみらい宣言・実践活動表彰の実施	11	A	○	○	○	○			○	○	○	○									9
		イベント等での食育の啓発	12	A	○	○	○	○			○	○	○	○									
きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供	12	A	○	○	○	○			○	○	○	○											
京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	13	A	○	○	○	○			○	○	○	○											
きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信	13	A	○	○	○	○			○	○	○	○											
食育プラットフォーム参加者の拡大	13	A	○	○	○	○			○	○	○	○											
教育委員会	高等学校保健体育課	学校教育活動全体を通じた食育の推進	14	A	○																	1	
		調理実習等の充実	14	A	○																		1
	体育保健課	地場産物を取り入れた学校給食の促進	15	A	○																		3
		地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成（改）	15	A	○																		1・12
	人事課	採用選考試験等の実施	15	A	○																		1
	体育保健課	教職員研修の充実	16	A	○																		1
学校給食を活用した食育の推進		16	A	○																		1・3	
福祉部	健康対策課	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	17	A					○													6	
		「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	17	A						○													13

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策										推進計画の目標 の項目番号			
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス					
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者										
山城管内	山城所北 保健所	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	17	A		○	○			○							
		健康づくりイベントでの食育啓発活動	18	A	○	○	○	○	○	○							
	山城所南 保健所	家庭における食育推進をねらいとした啓発	18	A						○	○						
		山城マルシェの開催	18	B									○				
	農林振興工局部	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	19	B	○	○	○	○	○				○				
		キッチンカーによる食農体験事業	19	B							○						
山城産野菜を使ったお茶に合う料理アイデアコンテストの開催		19	A	○	○	○	○			○							
山城教育局	山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	20	A	○													
南丹管内	農林振興工局部	「『京都丹波』イチ推しの食プロジェクト」2017	20	A								○				9	
		おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	22	A						○	○						9
		栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	22	A	○												1・12
	南丹保健所	食の生産現場における安全対策を学ぶフィールドワークの実施	23	A									○				5
		大学等を会場とした食育キャンペーンの開催（保健室）	23	A		○				○							9
		動きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」[保健室]	24	A			○			○							9
		「なんたん・かんだん・やさしい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）	24	A						○	○						9
		きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）	24	A	○	○	○	○	○	○	○						9
		南丹地域配食サービスリストの作成（更新）（保健室）	25	B						○	○						9
南丹教育局	南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催	25	A	○	○				○							8・12	
中丹管内	中丹教育局	中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	26	A	○											1	
丹後管内	農林振興工局部	小学校の食育活動に対する支援	26	A	○												
		食育フォーラムの開催	26	A	○	○											
	丹後保健所	イベントでの食育体験コーナー等の設置	27	A						○							
		食育月間の取組	27	A						○							
		丹後けんこう食堂化プロジェクト	27	A			○										
丹後教育局	丹後食育・学校給食研修会の開催	28	A	○													
京都乙訓管内	京都乙訓農業改良普及センター	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組	29	A								○					
	乙訓教育局	乙訓学校給食研究大会の開催	29	A	○												

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策										推進計画の目標 の項目番号					
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス							
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者												
農林水産部	振興課 農村	子どもを対象とした農業体験の開催	30	A	○														
		高校生・大学生による農業関連実践活動	30	A		○													
	担い手育成・ 経営支援課	府関連施設を活用した農林漁業体験（農業体験活動の推進）	30	A							○								
		府関連施設を活用した農林漁業体験（食を楽しみながら学ぶ機会の提供）	31	A							○								
	農林水産技術 センター・プラン （流通・フード・ 戦略課）	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催	31	A						○			○						
		農林水産技術センター施設公開の開催	32	A	○	○	○						○						
	流通・ 戦略課	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	32	A	○						○		○						
		農山漁村伝承技能の登録・認定	33	A				○					○						
	農産課	「京都米の良さ発見」提案事業の実施	33	B		○													
		京都米提供店の登録	33	A									○						
		茶育の推進	34	A	○														
		環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	34	A									○						
	水産課	水産教室の開催	35	A	○														
		都市漁村交流の促進	35	A	○	○	○	○											
商工労働観光部	商業・ 支援課	高齢者等への買い物支援	35	A					○										
	ものづくり 振興課	地域商品の価値向上研修会の開催（実施団体：食品産業協会）	36	A						○			○						
		農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）	36	A							○								
（自然環境保全部 全課）	海と星の見える丘公園	郷土料理作り	37	A	○	○	○			○	○	○	○						
		おくどさん体験及び夕食づくり	37	A	○	○	○				○	○	○						
		石窯パン・ピザ作り	38	A	○	○	○				○		○						
		巨大パエリアづくり	38	A	○	○	○				○		○						
件数	81				45	28	26	20	29	28	19	26	2						


## 2 取組の展開

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催		
取組の内容	<p>幼児への味覚の発達・調理力向上等を目的に、食育指導者等を対象とした研修会を実施し、幼児に対する調理実習の推進を図っていきます。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績 評価 A	<p>食いく先生養成講座にて幼児への調理実習での指導ポイントについて研修しました。</p> <p>実績 1回</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施		
取組の内容	<p>子どもを対象とした調理実習を推進するために、子ども用の調理器具の貸出事業を創設し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。</p> <p>目標 20施設</p>		
取組の実績 評価 A	<p>七夕料理やお餅つきなど子どもたちが食文化を学ぶための調理器具の貸出しや講師派遣を行いました。</p> <p>調理器具貸出事業実績 20施設</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	食農体験農場の開設推進		
取組の内容	<p>子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業体験と食に関する学習ができる農場の開設を支援します。</p> <p>目標：きょうと食農体験農場及び体験ができる京野菜ランドの登録 57箇所</p>		
取組の実績 評価 A	<p>食農体験農場及び京野菜ランドを登録するとともに、食農体験設備に対して支援することにより、食農体験の開設をすすめました。</p> <p>実績：きょうと食農体験農場及び体験ができる京野菜ランドの登録60箇所            （食農体験農場17箇所（うち新規3箇所）、京野菜栽培体験・生産者との交流・産地見学会及び調理実習のできる京野菜ランド43箇所（食農体験農場を兼ねるもの除く））</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子ども達の自発的な学びと実践につながる食育マンガの作成		
取組の内容	食育を分かりやすく子ども達に伝え、また、子ども達が自発的に食育できるきっかけとなるよう、テーマごとの食育短編マンガを作成します。		
取組の実績 評価 A	子ども達が食に興味関心を持ち、自発的な学びと実践につながるよう、食育啓発短編マンガを作成し、ダウンロードして小学校、特に高学年向けの食育の教材として使えるよう、京都府のホームページに掲載しました。  2編完成（栄養編、弁当の日編）		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標 2
取組事項名	府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ		
取組の内容	子ども達が自分でつくる「お弁当の日」を府内の学校に広めるため、府内での実践状況や取組等について、情報を提供します。		
取組の実績 評価 A	<p>食育推進フォーラム（平成29年11月6日開催）及び食育推進連絡協議会（平成30年2月20日開催）において、教職員等に「お弁当の日」のリーフレットを配付し、取組例を紹介しました。</p> <p>実績 2回</p> 		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 京都ならではの	目標 1 1
取組事項名	京都における季節の行事食などの研修会の実施		
取組の内容	食の安心・安全府民大学やきょうと食いく先生の活動において、京都における季節の行事食などの研修会を実施します。		
取組の実績 評価 A	食いく先生により、季節の和菓子作りや郷土料理の調理体験授業を実施しました。		

担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 世代（子ども、若い世代）、家庭、京都なら  
では



目標 1 2

取組事項名	きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施
取組の内容	<p>学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理等を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 また、小・中学校等へ社会人講師として出前授業を行う取組を進めます。</p> <p>目標：養成講座開催 1 回 きょうと食いく先生の授業数 220 回</p>
取組の実績 評価 A	<p>2月に養成講座を開催しました。 きょうと食いく先生の授業数 267回</p>



担当または窓口 食の安心・安全推進課


施策 世代（全世代）、家庭、5/7/7/11、京都ならでは

目標

取組事項名	食育シンポジウム等の開催
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク、大阪ガス（株）と共同で「和食 再発見」をテーマにシンポジウムを開催し、学校、地域、家庭での食育推進を働きかけます。 目標：1 回</p>
取組の実績 評価 A	<p>8月5日（土）に京都リサーチパークで開催m約190名の参加の中、村田吉弘氏の長年和食に取り組まれた豊富な知識と経験に基づいた講演、和食の調味料等の事業者を迎えてのパネルディスカッションと進みました。アンケートでは満足度は5点満点中、平均で4.4点であったほか、「和食の奥深さを再発見できた。」や「これまで育んできた食文化を次の世代にもきちんと作ってあげることで伝えていく事が大切だと感じた。」などの意見がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>



担当または窓口 食の安心・安全推進課	施策 世代（全世代）、家庭、ライフスタイル、食品ロス	目標
取組事項名	実践型食育講演会の開催	
取組の内容	<p>「食品ロス」削減の取組を広めていくために、食品を無駄なく調理する工夫等の講演を聴くとともに、参加者自身が無駄を出さない料理を実際に調理し、他の参加者と意見を交換することで、今後の「食品ロス」削減の取組の実践につなげる機会として、実践型食育講演会「もったいない！ みんなで減らそう「食品ロス」」を開催します。</p> <p>目標 1回</p>	
取組の実績 評価 A	<p>6月25日（日）ラ・キャリエールクッキングスクールにおいて開催、約80名参加の中、南極料理人 西村淳氏から南極観測隊に調理担当として参加した経験を踏まえて、食べ物を無駄にしないことや食を通じたコミュニケーションの大切さを講演いただきました。引き続き開催した料理教室では、西村氏が南極で実際に調理したレシピを、食生活改善推進員の指導のもと調理・試食しました。</p> <p>実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

担当または窓口 食の安心・安全推進課	施策 世代（子ども、若い世代、壮年期、高齢者）	目標
取組事項名	食育団体が連携した食育活動の推進	
取組の内容	<p>食育活動組織が連携して取り組まれる新たな食育の取組について、経費の一部を助成し、府内の各地域における食育の取組増加を促します。</p> <p>目標：食育のたね支援事業実施団体 10団体</p>	
取組の実績 評価 A	<p>おばんざい研修会、お茶と和菓子に係る研修会、子どもたちに正しい包丁の使い方を伝える調理研修会等を実施。子ども達から高齢者まで幅広い世代の食育の取組を支援しました。</p> <p>食育のたね支援事業実施団体 14団体</p> <div style="text-align: right;">  </div>	



担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 世代（若い世代、壮年期、高齢者）京都なら  
では

目標 4

取組事項名	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定
取組の内容	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定証の交付を行い、意欲の向上を図ります。 目標：新規認定施設数 12 施設
取組の実績 評価 B	新たに5施設（福祉施設4、病院1）を1月の認定章交付式にて認定しました。

担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 世代（高齢者）、ライフスタイル

目標 10

取組事項名	京野菜ランドによる宅配事業への支援
取組の内容	直売所へ出向くのが難しい方のために、京野菜ランドが宅配事業を実施できるよう研修会を実施するなど支援します。 目標：研修会の開催：1回
取組の実績 評価 A	平成29年7月14日（金）JA 京都中央会にて開催された JA 直売所担当者会議にて、京野菜ランド拡大・強化事業の宅配事業支援メニューについて説明しました。 また、平成29年8月2日（水）ガレリアかめおかで開催された地産地消セミナーにて、同様に事業説明を行いました。 実績：1回



担当または窓口 食の安心・安全推進課

施策 健康増進、家庭、ライフスタイル

目標 5

取組事項名	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催
取組の内容	平成32年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい情報を提供するために、講習会等を開催します。 目標：5回
取組の実績 評価 A	実施：5回 改正された食品表示についての講習の実施や、ブース出展ではクイズ形式で食品表示の解説を行いました。特にブース出展では、普段食品表示に関心の薄い方々にも興味を持って取り組んでいただくことができ、広く周知することができました。

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標 7
取組事項名	食の府民大学の講義の充実		
取組の内容	<p>特に忙しい子育て世代に対して、食材を選ぶことや、調理方法の知識を簡単に入手できるように、Youtube を活用した『5分間の講義（映像 Wikipedia）』を提供します。</p> <p>目標：10講座</p>		
取組の実績 評価A	<p>追加：10講座</p> <p>〈講座内容〉</p> <p>調理力講座 6講座</p> <p>食べきりクッキング 食品ロスを減らそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きんぴらのかき揚げ</li> <li>・ブロッコリーの茎のグラタン</li> <li>・鍋の余りであんかけかた焼きそば</li> <li>・にんじんとセロリの葉のきんぴら</li> <li>・筑前煮でつくねバーグ</li> <li>・餃子の皮でエッグタルト</li> </ul> <p>食選力講座 4講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食中毒 4講座</li> </ul>		




担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 健康増進、家庭、ライフスタイル	目標
取組事項名	食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催		
取組の内容	<p>食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全フォーラムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。</p> <p>目標：5回</p>		
取組の実績 評価A	<p>◆食の安心・安全意見交換会の開催 4回</p> <p>府内各地で、消費者と生産者との意見交換を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「京都丹波イチ推しの食」 平成29年7月7日(金) 京の食文化ミュージアムあじわい館 61名</li> <li>○「地元食材の魅力について」 平成29年10月13日(金) 宇川アクティブライフハウス 72名</li> <li>○「中丹茶の魅力について」 平成30年2月4日(日) 市民交流プラザふくちやま 12名</li> <li>○「京やましろ新鮮野菜生産者ファンクラブ交流会」 平成30年2月17日(土) JA 京都やましろ本店他 50名</li> </ul>		

	<p>◆きょうと食の安心・安全フォーラムの開催 1回</p> <p>きょうと信頼食品登録事業者及び京のブランド産品生産者等が製造する食品の安心・安全への取組を報告するとともに、その食品を使用した調理実演、試食をしながらの意見交換を行いました。</p> <p>日 時 平成30年1月30日(火)</p> <p>場 所 京の食文化ミュージアム あじわい館</p> <p>参加者 78名</p>
--	--

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	健康増進、家庭、ライフスタイル	目標
取組事項名	リスクコミュニケーション等の開催			
取組の内容	<p>食中毒、食品添加物、放射性物質等の食に関するリスクをテーマに、生産者、事業者、専門家などの関係者と意見交換を行い、理解を深めます。</p> <p>目標：15回</p>			
取組の実績 評価A	<p>実施：15回</p> <p>国との連携や、府民の要望に応じたリスクコミュニケーションを開催しました。子どもや親子を対象としたものや、体験型での開催など、開催方法も工夫しながら実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「アクリルアミドの低減と米トレサビリティー法」31名 平成29年9月26日(火)山城広域振興局</li> <li>○「食中毒予防」32名 平成29年10月27日(金)中小企業会館</li> <li>○「枝豆栽培と農薬の安全使用」43名 平成29年10月29日(日)京丹波町</li> <li>○「子どもの食事と食物アレルギー」20名 平成29年11月30日(木)ガレリアかめおか</li> <li>○「食品添加物」 平成30年3月2日(金)キャンパスプラザ京都</li> </ul> <p>○府民の要望に応じたリスクコミュニケーション 10回 主なテーマ：安心・安全な農産物づくり、畜産体験、食品表示</p>			



担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	食品ロス	目標
取組事項名	食品ロス削減府民会議の開催			
取組の内容	<p>府民や食品関係事業者、行政等が一体となり、売れ残りや規格外品、食べ残しなどの理由から、食品が廃棄されてしまう「食品ロス」の削減に向けた具体的な方策を議論するため、京都府食品ロス削減府民会議を設置し、幅広く議論を実施します。</p> <p>目標：年3回</p>			

取組の実績 評価A	<p>学識経験者、農林業、食品製造、流通、小売、飲食、消費者団体、福祉団体、フードバンク、行政などの関係者が、以下のテーマについて議論しました。 委員からの意見を踏まえて、「食べ残しゼロ推進店舗」の認定や啓発資材の作成等に取り組みました。 実績：3回</p> <p>第5回（平成29年6月14日） 議題：農産物規格外品の有効利用、需要予測精度向上など</p> <p>第6回（平成29年11月14日） 議題：印字ミス等の削減、値引き等による売り切りなど</p> <p>第7回（平成30年3月16日） 議題：これまでの議論の総括、今後の方針の確認</p>	
--------------	---	---

担当または窓口	食の安心・安全推進課	<b>施策</b> 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	<b>目標</b>
取組事項名	食育強化月間における関係団体と連携した啓発		
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績 評価A	<p>京都府農林水産フェスティバル2017（平成29年11月25日、26日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育体験コーナーを設置し、食生活相談や食育に関する展示等を行いました。</p> <p>実績：1回</p>		

担当または窓口	食の安心・安全推進課	<b>施策</b> 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	<b>目標</b> 9
取組事項名	食のみらい宣言・実践活動表彰の実施		
取組の内容	<p>府民が主体的に食育活動に取り組むきっかけづくりとして、府民自らの食に関する目標（宣言）と、その結果（実践）及びその様子がわかる写真を「京都府食のみらい宣言・実践活動」として募集します。</p> <p>目標：食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 4,000名 (H28からの累計)</p>		
取組の実績 評価A	<p>府民の主体的な食育活動の取組を推進するため、自らの食に関する目標を宣言する「食のみらい宣言」とその実践活動結果を募集しました。応募総数171点の中から「京都府食のみらい宣言・実践活動表彰」入賞宣言を決定し11月25日（土）に表彰式を開催しました。</p> <p>また、京都府主催のイベント等において、多くの府民に食のみらい宣言を実施していただきました。</p>		

	 
	実績：食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 4,079名

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	イベント等での食育の啓発		
取組の内容	「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験出来る機会とします。 ○食育取組事例等の展示・配布 ○体験型ブース出展（食生活の見直しや、食に関わるマナー等の体験機会とします。） ○アンケート実施（府民の食育に対する意識を把握します。）		
取組の実績 評価A	各種イベントに出展し、パネル展示、食生活チェックコーナー設置、資料配付、アンケート等を実施しました。 <出展イベント> ・SKY ふれあいフェスティバル（平成29年9月16日） ・京都府農林水産フェスティバル（平成29年11月25日、26日）		



担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供		
取組の内容	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。 【食育支援の取組】 ○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供 ○農林漁業体験プログラム 等		
取組の実績 評価A	「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施しました。		





担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供		
取組の内容	<p>ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を提供します。          &lt;きょうと食育情報&gt;  <a href="http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html">http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html</a>          &lt;食の安心・安全きょうと&gt;  <a href="http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/index.html">http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/index.html</a></p>		
取組の実績 評価A	<p>平成 29 年 8 月 4 日（金曜日）より、「きょうと食育情報メールマガジン」と「きょうと食の安心・安全情報」を統合、リニューアルした「きょうと食育・安心・安全メールマガジン」を発行。2 週間に一度、京都府の食育や食の安心・安全についての取り組みや関係機関の行事など様々な情報を発信しています。</p> <p>&lt;きょうと食育・安心・安全メールマガジン&gt;  <a href="http://www.pref.kyoto.jp/shokupro/merumaga.html">http://www.pref.kyoto.jp/shokupro/merumaga.html</a></p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信		
取組の内容	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を情報発信します。		
取組の実績 評価A	「きょうと食育事例集」に、きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報を掲載しました。		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	食育プラットフォーム参加者の拡大		
取組の内容	<p>食育が府民運動として取り組まれるための体制を整えるため、府内で食育に取り組む個人や団体が参加可能な食育プラットフォームの拡大を図ります。</p> <p>プラットフォームにおいては、府内外における食育の先進的な取組情報やそのノウハウの共有を行うとともに、食育に取り組む仲間や協力者を得るなど、食育に関して有益な情報交換や交流を行うための場として位置づけます。</p> <p>目標：食育プラットフォーム参加者 200名</p>		
取組の実績 評価A	<p>食育プラットフォーム参加者303名          （きょうと食育プラットフォーム facebook なす坊友達126名）          （きょうと食育メーリングリスト登録者 177名）          SNSで食育情報を発信すると共に、食育行事等でプラットフォームへの参加を呼びかけました。</p>		

取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進
取組の内容	<p>「食」に関する指導計画に基づき、食育に対する教職員の共通認識のもと、組織的・体系的な食育を展開することにより、子どもたちにとって望ましい食習慣づくりを推進します。</p> <p>また、食育に関する教職員等の意識の向上を図り、各関連教科や特別活動等、あらゆる機会を通じた「食」に関する指導を充実します。</p>
取組の実績評価 A	<p>小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと学校全体で取組を進めている。教職員向け食育啓発リーフレットを配布し、積極的な実施を促しています。</p> <p>栄養教諭、養護教諭等と担任教諭とのチームティーチングによる食育が積極的に行われています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

取組事項名	調理実習等の充実
取組の内容	<p>基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康と安全・衛生に配慮して調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができるようにします。</p>
取組の実績評価 A	<p>各学校で、家庭科、技術・家庭科等の授業において、栄養教諭等との連携やきょうと食いく先生等の地域の専門家の協力を得るなど様々な工夫を凝らしながら、地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。</p> <p>【実践例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お弁当の日の事前学習として、お弁当作りの基本を学びました。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国の食文化を学ぶことを目的に韓国風海苔巻き「キムパ」の調理法を学びました。</li> <li>地域の商店街から梅を購入し、梅干し作り取りに組み、保存食について学びました。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div>



担当または窓口 保健体育課

施策 世代(子ども)

目標 3

取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食などを取り入れることにより、地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。
取組の実績 評価 A	<p>「食に関する指導充実事業」「食育月間」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用した地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での実践発表やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し、普及を図りました。</p> <p>学校給食への地場産物活用状況調査を行い、状況を把握するとともに地場産物の活用の良さや効果等とともに、その結果を研修会等で伝えました。</p>

担当または窓口 保健体育課

施策 世代(子ども)

目標1・12

取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成(改)
取組の内容	食の専門家である「食いく先生」や食生活改善推進員等の外部講師による指導、さらには地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。
取組の実績 評価 A	<p>各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験学習を実施しています。</p> <p>「食に関する指導充実事業」等において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進しました。</p> <p>また、きょうと食いく先生を活用し、食の専門家による出前授業を通して調理実習、食品加工体験、農業等に取り組みました。</p>



担当または窓口 教職員人事課

施策 世代(子ども)

目標 1

取組事項名	採用選考試験等の実施
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。
取組の実績 評価 A	今年度、栄養教諭3名を採用し、全体で93人(京都市を除く)の配置数となりました。

担当または窓口 保健体育課		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	教職員研修の充実		
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、教育局別研修会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。		
取組の実績 評価 A	<p>初任者、新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実事業」食育推進フォーラム、京都府学校給食研究協議大会、教育局別の食育・学校給食研修会等において教職員の食育推進に対する意識が向上するように食に関する研修を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 保健体育課		施策 世代(子ども)	目標 1・3
取組事項名	学校給食を活用した食育の推進		
取組の内容	和食の保護・継承や京の食文化への理解を深めるため、地場産物や郷土食、行事食を献立に取り入れたり、教科などに関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の取組を推進します。		
取組の実績 評価 A	<p>学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。</p> <p>学校給食を実施している府内全ての小中学校で「和食の日(11月24日(いい日本食))」の取組を行い、学校給食に、だしの味のきいた和食献立を提供するとともに、和食の良さや地域の食文化等について学びました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「食に関する指導充実事業」の指定校では、学校給食を活用した食育を推進するとともに、その成果を研修会で実践発表するなどにより、府内への普及を図りました。</p>		

担当または窓口	健康対策課	施策	世代（壮年期）、健康増進	目標	6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加				
取組の内容	<p>①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー又は③アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。</p> <p>目標：800店舗の登録（H32年度）</p>				
取組の実績 評価A	現在、766店舗。うち、313店は旧制度（H29まで存置）の食情報提供店のみの加入であり、引き続き新制度への移行を働きかけます。				

担当または窓口	健康対策課	施策	健康増進、京都ならではの	目標	13
取組事項名	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数				
取組の内容	<p>「栄養」や「京都市らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を認定し、普及・販売促進に努めます。</p> <p>目標：年15,000個の販売</p>				
取組の実績 評価A	年25,351個の販売実績がありました。 認定した弁当は35種類で、新規加入業者が1社ありました。				

担当または窓口	山城北保健所	施策	世代（若い世代、壮年期）、健康増進	目標	
取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発				
取組の内容	管内商工会議所、事業所等と連携し、健診時等において、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等への食生活改善に向けた啓発に努めます。				
取組の実績 評価A	<p>○商工会議所と連携した歯周病予防健診に併せ、働き盛り世代の食生活改善に向けたパネルや媒体の展示を実施しました。（1回）</p> <p>○社員食堂を持つ事業所と連携し、従業員の食及び健康に関する意識向上を図るため、テーブルPOPの設置による健康・栄養情報の提供啓発や健康フェアを開催しました。（2事業所に対し継続的に実施）</p>				


担当または窓口 山城北保健所		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭	目標
取組事項名	健康づくりイベントでの食育啓発活動		
取組の内容	管内各市町等と連携した健康づくりイベントにおいて、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、食育の啓発に努めます。		
取組の実績 評価 A	がん検診受診促進事業において食育コーナーを設け、野菜摂取向上等をテーマに、野菜クイズ、パネル、媒体の展示を実施しました。（1回）		

担当または窓口 山城南保健所		施策 健康増進、家庭	目標
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発		
取組の内容	各種イベント等において、野菜の摂取やバランスのよい食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供等を行い、食育の啓発に努めます。		
取組の実績 評価 A	○救急フェア（平成29年9月9日）の健康相談コーナーにおいて、野菜の摂取についてをテーマに、パネルや野菜料理のフードモデルを展示し、来場者に正しい知識や食べ方のコツ等の説明を行いました。（参加者数 104名）		



担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 京都ならではの	目標
取組事項名	山城マルシェの開催		
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を目的に山城マルシェを開催します。 目標：7回（けいはんなプラザ、主要駅や市役所前広場など）		
取組の実績 評価 B	<p>木津総合庁舎駐車場 1回(11/17)、文化パーク城陽2回(11/10、11)、JR宇治駅3回(11/2,12/8,1/19)の計6回開催しました。 開催実績：6回 *台風による中止1回(10/29 城陽市五里五里の丘)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>木津総合庁舎</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>文化パーク城陽</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>JR宇治駅</p> </div> </div>		


担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 世代（全世代）、健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大		
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。 目標：50店舗		
取組の実績 評価B	一次募集（H29.7.3～8.31）8店舗、二次募集（H29.12.20～H30.1.31）7店舗の計15店舗登録しました。 実績：15店舗		

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 家庭	目標
取組事項名	キッチンカーによる食農体験事業		
取組の内容	山城地域の食や農にふれ、食べ物への感謝の心を育む実践型食育を通じて、家族全員が調理力を学ぶ機会を提供します。 目標：3回		
取組の実績 評価B	平成30年2月17日に2回実施しました。 開催実績：2回 *台風による中止1回（9/17 城陽市五里五里の丘）。		

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 世代（全世代）、家庭	目標
取組事項名	山城産野菜を使ったお茶に合う料理アイデアコンテストの開催		
取組の内容	お茶の京都「食の祭典」の開催に合わせ、料理アイデアコンテストを実施します。		
取組の実績 評価A	募集期間：29.7.18～8.31、二次（最終）審査 10月12日、入賞点数5点。 表彰式が雨天中止のため、個別に表彰しました。 ○最優秀賞 城陽市 宮川義広 ○優秀賞 和束町 渡辺毅志 ○やましろ茶一みんぐ賞 城陽市 阪下拓也 ○いちじくとお茶のマリアージュ賞 城陽市 阪下繁夫 ○やましろチャレンジ賞 木津川市 曾我千代子		 10/12 二次審査会



担当または窓口 山城教育局	施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	
取組の内容	<p>山城管内の学校、学校給食共同調理場及び市町（広域連合）教育委員会の教職員・調理員等学校給食関係者が食に関する指導についての理解を深め、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図るとともに、学校給食の管理及び運営並びに食に関する指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保と健康教育に関する指導のより一層の充実を図ります。</p> <p>○平成29年7月25日（火） 城陽市立東部コミュニティセンター</p>	
取組の実績 評価A	<p>7月25日（火）城陽市立東部コミュニティセンターにおいて開催、約200名参加の中、同志社女子大学 生活科学部食物栄養科学科特任教授の伊藤 節子氏に、学校における食物アレルギーの対応について御講演いただきました。また、実践発表として、久御山町立御牧小学校 栄養教諭東田 正栄先生に、学校と家庭・地域が協働した食育の取組についてお話いただきました。実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部	施策 京都ならではの	目標 9
取組事項名	『『京都丹波』イチ推しの食プロジェクト』2017	
取組の内容	<p>京都丹波ならではの魅力ある直売所、京都丹波ならではの料理メニューを開発し、農産物直売所を拠点に農産物等の売上げの拡大、また「食」に焦点をあて、京都丹波産食材の摂取量向上等を目指し、「くるっと京都丹波イチ推しの食ラリー」を展開します。</p>	
取組の実績 評価A	<p>京都丹波の豊かな食材に焦点をあて、新たな料理開発やそれを通じた「食材」の見える化、マーケットメディアに多く発信することにより、豊かな食材生産地としての知名度アップさせるとともに、直売所の機能の拡大や直売所利用者の増加による農家所得の向上を図ることを目的に取組を実施しました。</p> <p>① <b>京都丹波イチ推しの食 料理共同開発 2017（4月～10月）</b> 直売所や農家が考案した京都丹波ならではのオリジナルレシピをもとに、ホテルグランヴィアグループ総料理長と直売所・道の駅が料理メニューを共同開発</p> 	

**【共同開発メニュー発表会】**

日時及び場所：7月7日 京の食文化ミュージアムあじわい館  
 新メニュー：9種類（京丹波産材を使った食器で新メニューを提供）  
 取材等参加者：約60名



**【京都丹波イチ推しの食共同開発メニュー】**



京都丹波産材の食器（京都丹波木づかい運動）で提供

**【共同開発メニューフェア】**

日時：7月8日～10月31日  
 内容：新メニュー開発7直売所において販売促進。  
 フェア期間後も定番商品として各直売所で販売中

施設名	メニュー名（9種類）
①ファーマーズマーケット たわわ朝霧	プレミアムたわわロール（亀岡牛ローストビーフ）
	たわわロール（京地どり）
②道の駅 ガレリア亀岡	亀岡牛のご馳走おこわ
	亀岡牛の湯葉寿し
③道の駅 京都新光悦村	そのべ夏野菜のうどんサラダ～京都丹波の宝石箱～
④道の駅 スプリングスひよし	丹波黒どり親子オムライス～特Aキヌヒカリと黒豆 と壬生菜漬～
⑤道の駅 京丹波味夢の里	京丹波黒どんぶり
⑥道の駅 和	和知黒バーグ
⑦京都トレーニングセンター （レストランフレッシュ）	森もり黒豆パフェ スムージー

**② 「ぐるっと京都丹波イチ推しの食」ラリー**

京都丹波地域の道の駅・直売所等が連携し、イチ推しの食メニューフェア開催にあわせ、イチ推しの「食材」や「新メニュー」など地域の食を満喫できる「ぐるっと“京都丹波イチ推しの食”ラリー」を開催しました。

- ・メニューフェア参加店舗を巡る「京都丹波あじわいコース」
- ・管内19直売所を巡り買物する「京都丹波ぐるっとコース」を開催

期間：7月8日～10月31日 ラリー応募数：128口






担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部

施策 健康増進、ライフスタイル


目標 9

取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	
取組の内容	ボランティアが農家と一緒に農作業に汗を流すことで、農山村の活性化や地産地消を推進し、また、農家等地域との交流により、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。	
取組の実績 評価 A	<p>京都丹波の8地区で農作業応援を50回開催し、延べ472人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。</p> <p>また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。</p>	



担当または窓口 南丹広域振興局農林商工部

施策 世代（子ども）

目標 1・12

取組事項名	栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	
取組の内容	<p>地元小学校が農産加工グループ、食いく先生、当普及センターが協力して、</p> <p>①小学校児童に大豆栽培から味噌作りや、味噌汁調理までの食育を行います。普及センターは大豆栽培指導の支援や、味噌汁の具用野菜の栽培方法の指導を分担します。 対象：亀岡市 川東学園、青野小学校</p> <p>②小学校児童に黒大豆（枝豆）、壬生菜の栽培、収穫までの食育を行います。普及センターは栽培方法の指導を支援します。 対象：南丹市 殿田小学校</p>	
取組の実績 評価 A	<p>9月21日（木）美山小学校2年生18名を対象に食育活動を実施しました。普及センターは、さつまいもの芋掘りの作業、小学生からの質問への回答などについて活動を支援しました。実績1回（食いく先生の活動としては定植、マルチング、水やり、草引き、収穫を指導）</p> <p>収穫終了後に記念撮影（左3列目1人目が食いく先生）</p>	

取組事項名	食の生産現場における安全対策を学ぶフィールドワークの実施
取組の内容	南丹広域振興局の各部局職員を対象に、臨場感を持った食の安全対策の共通認識を深めるためのフィールドワークを実施予定です。
取組の実績 評価 A	<p>●プロジェクトチーム会議の開催</p> <p>日時：平成 29 年 5 月 24 日</p> <p>出席：南丹保健所、農林商工部（企画調整室・地域づくり推進室・森づくり推進室・普及センター）、教育局</p> <p>内容：○各部局における食育推進事業の情報交換 ○京都食いく先生の活動について ○各部局の連携による事業について</p>

取組事項名	大学等を会場とした食育キャンペーンの開催（保健室）
取組の内容	<p>野菜摂取量の向上をめざした食育キャンペーンを、野菜摂取量が落ち込む若い世代（大学生）を対象に実施します。</p> <p>目標：年1回 参加者150名</p>
取組の実績 評価 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月6日（月）に京都学園大学食堂にて、11月24日（金）に明治国際医療大学食堂にて、食育キャンペーンを開催しました。</li> <li>・当日、学生が選んだ昼食の野菜量をチェックしたり、野菜1日分クイズ&amp;アンケートを行い、野菜摂取量向上への意欲を高めた。参加者は2校で計401名と多くの野菜摂取量が落ち込む世代への働きかけが出来ました。</li> <li>・きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会として開催し、多くの部会構成員の協力のもと実施することが出来ました。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

担当または窓口	南丹保健所	施策	世代（壮年期）、健康増進	目標	9
取組事項名	働きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり 「けんこう食堂化プロジェクト」（保健室）				
取組の内容	働き盛り層の「肥満者の増加」や「野菜摂取量の不足」など食に関する課題解決に向けて、企業・大学と保健所が協働で健康講座や食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めるとともに、農林商工部との連携により地元産野菜の販路拡大も進めます。  目標：1ヶ所以上				
取組の実績 評価A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀岡市商工会議所及び園部労働基準協会主催の健康診断開催時に、健診を受診した働き盛り層に対し、食に関する啓発・展示・相談を3回実施しました。</li> <li>・ 社員食堂を持つ事業所等1カ所に対し、働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」を実施しました。</li> </ul>				

担当または窓口	南丹保健所	施策	健康増進、家庭	目標	9
取組事項名	「なんたん・かんたん・やさい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）				
取組の内容	京都丹波地域府民会議食環境部会で27年度に編集した「野菜レシピカード」を農作物直売所・一般飲食店・食環境部会構成団体を通じて広く配布します。 目標：直売所及び飲食店 年3回 配布枚数：計20,000枚				
取組の実績 評価A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀岡市、南丹市、京丹波町内で開設されている下記施設のうち希望された62ヶ所（常設野菜直売所36カ所、加工研究会代表等6カ所、一般飲食店（食情報提供店）20カ所）へ8月、1月、3月の3回配布を行いました。</li> <li>・ 食環境部会構成団体が主体的にレシピを活用し、野菜摂取量の向上を図りました。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回数：直売所等3回、構成団体33回 配布枚数：33,700枚</li> </ul>				

担当または窓口	南丹保健所	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭	目標	9
取組事項名	きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）				
取組の内容	南丹地域の食による健康長寿をめざすことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。  目標：年2回				
取組の実績 評価A	構成団体（13団体）の出席を得て、6月に第1回を2月に第2回を開催しました。取り組みの共有や課題の検討を通して、保健、保育、教育、ボランティア団体、農林部局と各所属を越えた連携に繋がることができています。				

担当または窓口 南丹保健所

施策 世代（高齢者）、健康増進


目標 9

取組事項名	南丹地域配食サービスリストの作成（更新）（保健室）
取組の内容	調理や買い物が困難な方や病気に合わせた食事を作ることが難しい方への在宅での食事の充実をめざし、南丹地域で利用できる配食サービスの資源調査を行い、サービスリストをH25.3に初版を作成し、必要な人に届くよう主な施設に配布及び保健所ホームページへ掲載しています。高齢者の食の課題に寄り添った情報も掲載し、リストを更新します。
取組の実績 評価 B	29年度のリスト更新は見送り、30年度に実施予定です。

担当または窓口 南丹教育局


施策 世代（子ども 若い世代）、健康増進


目標8.12


取組事項名	南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催
取組の内容	南丹管内の幼・小・中・府立学校・学校給食センター・市町教育委員会等の教職員及び調理員が食に関する指導や管理運営に係る実践交流等を行い、安心・安全で、かつ生涯にわたる健康づくりの基盤となる学校給食の充実と、家庭・地域等と連携した学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。 目標：1回
取組の実績 評価 A	平成29年7月31日（月）京都トレーニングセンター研修室において開催。118名が参加。実践発表と講演を実施。 実践発表では、発表校で取り組んでいる衛生管理・食育についてそれぞれ報告があり、参加した方が現場に持ち帰って実践できる内容でした。 講演は、同志社女子大学生生活科学部食物栄養科学科の伊藤 節子先生から、「学校給食における食物アレルギー対応」と題した内容の話をさせていただきました。食物アレルギーの主な原因が卵・牛乳・小麦であること等を説明いただいた後、ヒューマンエラーは必ず起こり得るという視点から、食材の分かる献立作り、外観から分かる工夫、ヒヤリ・ハット事例を出し易い雰囲気作り等について実践的なお話をさせていただきました直ぐにでも実践できる学びの多い内容でした。実績：1回  当日の様子→ 




担当または窓口	中丹教育局	施策	世代(子ども)	目標	1
取組事項名	中丹地区食育・学校給食研究大会の開催				
取組の内容	中丹地区の学校給食の充実や安全な学校給食の実施に向けて、栄養教諭や学校給食の調理従事者等の研修を実施します。 目標：1回				
取組の実績 評価A	8月5日(木)に舞鶴市商工観光センターにおいて、204名学校給食の調理従事者や栄養教諭等学校関係者が参加し、実施しました。 「日本料理とは何か」と題して、学校法人大和学園 京都調理師専門学校 日本料理講師 飯 聡 様から和食の特徴である素材の味わいや季節感を大切にすること、家庭で出来る盛り付けのポイント等を聴かせていただき、参加者は給食に取り入れていけるよう和食について改めて学ぶ機会となりました。 実績：1回				



担当または窓口	丹後広域振興局農林商工部	施策	世代(子ども)	目標	
取組事項名	小学校の食育活動に対する支援				
取組の内容	小学校が取り組む水稻等の農作業体験活動を支援します。 目標：年2回				
取組の実績 評価A	6/3新山小学校 講演会 6/10弥栄小学校 食育講話 7/26アグリセンター大宮 夏期調理研究会 9/30野田川わーくばる 丹後はぐくみフェスティバル 12/15丹後食育フォーラム アグリセンター大宮 実績：年5回				

担当または窓口	丹後保健所	施策	世代(子ども、若い世代)	目標	
取組事項名	食育フォーラムの開催				
取組の内容	農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりをすすめることを目的とし講演会等を開催します。 目標：年1回				
取組の実績 評価A	12月15日(金)に他部局と連携し、食育フォーラム(食育に関する講演及びパネルディスカッション)を開催したところ、111名の参加がありました。 講演では熱心にメモをとる参加者がいたり、パネルディスカッションでは、パネリストの方からの熱い思いを聞くことができ、今後丹後地域の食育を推進していくためのアイデアが多数挙げられました。				

担当または窓口 丹後保健所		施策 健康増進	目標
取組事項名	イベントでの食育体験コーナー等の設置		
取組の内容	<p>丹後農業研究所施設公開デーや職場対抗大人体力テスト大会をはじめ、多数の府民が集まる会場にて、栄養士や保健師が「健康づくり」の推進を目的に、食についての相談や体験コーナーを設置します。</p> <p>目標：年2回</p>		
取組の実績評価A	<p>6月17日(土)[参加者:240名]、9月24日(日)[参加者:25名]に開催した「おとなの体力テスト大会」で、働き盛り世代が関心を持ちそうな食事に関してのフードモデルを展示し、その場で相談も行いました。初めて目にする脂肪のモデル等に参加者は興味を持ち、啓発が難しい働きざかり世代に対して、正しい食習慣の普及が出来ました。</p> <p>また、8月18日(火)[参加者:約150名]に実施した丹後農業研究所施設公開デーでは全世代を対象に、フードモデルを用いて食についての相談を行いました。</p> <p>実績：3回</p>		

担当または窓口 丹後保健所		施策 健康増進	目標
取組事項名	食育月間の取組		
取組の内容	<p>食育月間である6月に、府民ホールにて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。</p>		
取組の実績評価A	<p>食育月間である6月に府民ホールにて、歯科の展示と併せて嗜好飲料等に関する展示を実施しました。府民の皆さんに伝わりやすいように、嗜好飲料に含まれる砂糖の量を実際のスティックシュガーを用いて示しました。</p> <p>来局された府民に対し、正しい食習慣について、情報提供することが出来ました。</p>		

担当または窓口 丹後保健所		施策 世代(壮年期)	目標
取組事項名	丹後けんこう食堂化プロジェクト		
取組の内容	<p>社員の健康課題(脂質異常症等)の改善に向けて、事業所と保健所が協働で社員食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できるなど食を通じた健康づくりを目指します。</p>		

取組の実績 評価A	<p>(1)けんこう食堂化プロジェクト検討会議の実施【6/16、9/4、11/7、3/13】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、保健所と連携して食堂の改善に向けた企画検討、評価を行いました。</li> <li>・助言者として県立広島大学大学院経営管理研究科 教授 田中 浩子 氏に1回目と4回目に出席いただきました。</li> </ul> <p>(2)従業員を対象とした食習慣に関するアンケート実施・分析 【7月・2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回収率 7月（事業実施前）：74%、2月（事業実施後）：55%</li> </ul> <p>(3)食堂での事業【10/10、2/16】</p> <p>【10/10】①野菜あてクイズ、②血管年齢測定、③展示 【参加者:約 60 名】</p> <p>④保健所栄養士による講話 【参加者：32 名】</p> <p>(テーマ：働き盛り世代に向けた正しい食生活について)</p> <p>(内容：事前アンケート結果報告、野菜摂取について、話題性ある食情報(糖質制限等)、食堂メニューについて等)</p> <p>【2/16】①野菜たっぷりメニューの提供、提供メニューについての説明、展示 等【参加者:約 90 名】</p> <p>【その他】10月～卓上メモ（野菜の摂取について、甘い飲み物について）を作成し設置</p>
	 

担当または窓口	丹後教育局	施策	世代（子ども）	目標	
取組事項名	丹後食育・学校給食研修会の開催				
取組の内容	丹後管内の学校・学校給食センター・市町（組合）教育委員会の教職員・調理従事員・関係職員を受講対象者とし、管内における取組報告や研究協議を行うことにより、食に関する指導についての理解を深め、食に関する指導計画に基づいた学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。				
取組の実績 評価A	<p>下記のとおり開催したところ、食育に関する目標を再認識していただくことができ、在籍校における目標設定の見直しや、今後の具体的な指導を再考してもらう機会となりました</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>日 時：平成 29 年 7 月 26 日 午後 1 時 30 分から同 4 時 30 分</p> <p>参加者数：150 名</p> <p>内 容：課題提起 「学校における食育の推進について」 京都府丹後教育局 吉岡 秀一 指導主事</p> <p>実践発表 「『食』で育む健全な心と体」 京丹後市立かぶと山小学校 岩佐 厚平 教諭</p> <p>講演「学校における食物アレルギー対応と衛生管理の徹底について」 京都府教育庁指導部保健体育課 後藤 純子 指導主事</p> <p>主 催： 京都府教育委員会 京都府学校給食研究会</p> <p>主 管： 京都府丹後教育局 与謝地方学校給食研究会 京丹後市学校給食研究会</p> <p>後 援： 丹後地方教育委員会連合会 公益財団法人京都府学校給食会</p>				



担当または窓口 乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓 農業改良普及センター		施策 世代(壮年期)	目標
取組事項名	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組		
取組の内容	<p>特定給食施設である事業所と連携し、主に働き盛り層の男性従業員を対象に、健康課題の改善のため食習慣の改善に重点を置き、京都府産野菜を使用した昼食を介し、野菜摂取量増加の啓発活動に努めます。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績 評価A	<p>1月26日（金）三菱ロジスティック（株）食堂において開催しました。参加者460名に野菜摂取量をアップした献立の料理を提供するとともに、簡単野菜料理レシピや食生活改善啓発用のポケットティッシュを配付、アンケートを実施しました。</p> <p>料理には地元特産の花菜や京都府産の野菜を主に使用しました。</p>		

担当または窓口 乙訓教育局		施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	乙訓学校給食研究大会の開催		
取組の内容	<p>乙訓管内の学校給食実施校及び各市町教育委員会の学校給食関係者を対象として、乙訓学校給食研究会と連携し、学校給食における管理運営・栄養管理や調理・食に関する指導についての諸問題を研究協議し、学校給食の安全性の確保を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食のより一層の充実と食育の推進を図るため、研修会を実施します。</p>		
取組の実績 評価A	<p>日 時：平成29年7月26日（水） 14：00～16：45 場 所：大山崎町立大山崎小学校 参加者：学校給食関係者 112名 内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講 演 「学校給食における食物アレルギー対応」 同志社女子大学特任教授 伊藤 節子</li> <li>○ 研究発表 栄養教諭・栄養職員部 「食に関する指導～小学生用食育教材に即した指導の充実に向けて」 給食主任部 「『食』に関する指導の充実を目指して」</li> </ul>		



担当または窓口 農村振興課		施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催		
取組の内容	<p>将来を担う子どもたちの農業に対する関心を深めるために、子どもたちを対象とした植え付け体験や収穫体験等のイベントを、地域団体が主体となって開催します。</p> <p>目標：農業体験イベント 10地区</p>		
取組の実績 評価A	<p>実績：ふるさと保全活動等を府内10地区で開催</p> <p>作物の植え付け、収穫、試食体験等、子どもたちが生産の楽しみ、食の大切さを知る機会となっています。</p>		

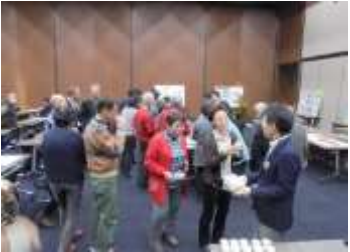
担当または窓口 農村振興課		施策 世代(若い世代)	目標
取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動		
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保安全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標値：参加学校数 5校</p>		
取組の実績 評価A	<p>実績：教育実践パートナーシップ活動や企画公募型ふるさと保全活動を府内5校で実施</p> <p>農業や郷土食、農業用施設の学習や、農作業体験等、学生の知識を深める取組となっています。</p>		

担当または窓口 経営支援・担い手育成課(丹後王国「食のみやこ」)		施策 家庭	目標
取組事項名	府関連施設を活用した農林漁業体験(農業体験活動の推進)		
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜(ブルーベリー、サツマイモ等)の収穫や自然体験など、「農業体験」活動等を推進します。</p> <p>目標：760名</p>		
取組の実績 評価A	<p>峰山高校弥栄分校 10名 園内花壇への植栽・手入れ(4/28、6/5)</p> <p>羊毛刈り体験 39名(5/13,14)</p> <p>漁業体験(定置網漁体験) 5名(5/19)</p> <p>田植え体験 10名(6/5)</p> <p>ジャガイモ収穫体験 40名(7/1~13)</p> <p>竹水鉄砲づくり 24名(7/23)</p> <p>ブルーベリー収穫体験 285名(8/1~9/4)</p> <p>サツマイモ収穫体験 232名(10/1~16)</p> <p>黒大豆・枝豆収穫体験 20名(10/21)</p> <p>狩猟セミナー(狩猟体験) 155名(12/17)</p> <p>九条ネギ苗植え付け体験(ノウフクマルシェ) 100名(3/18)</p> <p>キノコ(シイタケ・ナメコ)菌打ち体験 22名(3/21)</p> <p>合計 942名</p>		



黒豆収穫体験

担当または窓口 経営支援・担い手育成課（丹後王国「食のみやこ」）	施策 家庭	目標
取組事項名	府関連施設を活用した農林漁業体験（食を楽しみながら学ぶ機会の提供）	
取組の内容	丹後王国「食のみやこ」内の加工施設等において、成形パン、アイスクリーム、クッキー等の「食」を楽しみながら学ぶ「手作り体験教室」を開催します。 目標：4,080名	
取組の実績 評価A	<p>次のとおり取組を行いました。</p> <p>手作り体験教室 <b>3,097人（4月～3月）</b>  西利 漬物教室 39名（4月～12月）  ピチピチ握り寿司体験 15名（5/19）<b>12名（3/15）</b>  枝豆ずんだ餅作り体験 3名（10/22）  網野高校・福知山淑徳高校 18名（11/19）  黒大豆の味噌づくり体験 14名（12/3）  ジャンボばら寿司作り 300名（10/28）  ばら寿司調理体験 21名（10/15）  地酒カクテル体験 57名（10/15）  がっしゃーうみゃー祭 <b>56名（12/2）</b>  ジビエ体験 <b>95名（12/17）</b>  お米品種当て（農業委員会） 100名（12/17）  丹後バル（Tango Bar） 35名（2/24）  食人材学舎（農産・水産加工） 105名（1月～3月）  食人材学舎販売実習（農産） 91名（3/17）  <b>合計 4,058名</b></p>	 <p>手作り体験</p>  <p>味噌づくり体験</p>

担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）	施策 健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催	
取組の内容	府内産農林水産物に関する研究成果や最新情報を提供することで、府内産の特色ある食材を府民の皆様を知ってもらい、身近に親しんでいただく機会を提供します。 目標：1回	
取組の実績 評価A	<p>12月9日、京都市内で「てん茶の成分を活かした新飲料製造法の開発」、「冷感衣料による乳牛の夏バテ防止対策」をテーマに講演会を開催し、併せて、水出してん茶の試飲や紫ずきんの試食を行いました。</p> <p>参加者からは、「てん茶の新飲料に期待している」「冷感衣料の素材はどのようなものか」等、多くの意見や質問があり、研究成果に対する関心の高さがうかがえました。今後もこのような機会を通じて研究成果の普及に努めます。</p> <p>実績：1回</p>	 <p>水出してん茶の試飲の様子</p>

担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）	施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、京都ならではの	目標
取組事項名	農林水産技術センター施設公開の開催	
取組の内容	<p>府内各地にある農林水産試験研究機関において、京野菜や京都米、丹後とり貝など、京都府の特色ある農林水産物のつくり方やおいしさの“ふしぎ”に触れながら、その魅力を体感できる施設公開を、夏休み期間を中心に開催します。</p> <p>目標：6回</p>	
取組の実績 評価 A	<p>府内6箇所にある各研究センター※において、府民の方々に普段は見ることができない研究施設や試験ほ場を案内し、最新の研究成果を紹介したほか、昨年引き続き「夏休み宿題応援コーナー」を設け、研究員と実験や実習を体験しながら京都の農林水産業に興味を抱くよう工夫を凝らし、各地で大好評の施設公開となりました</p> <p>※①5/28 畜産センター碓高原牧場(京丹後市<sup>注</sup>)、②7/27 農林センター(亀岡市)、③7/28 海洋センター(宮津市)、④8/9 畜産センター(綾部市)、⑤8/18 丹後農業研究所(京丹後市)、⑥8/22 生物資源研究センター(精華町)</p> <p>注) 碓高原牧場の公開は「いかり高原まつり」の一環として実施</p> <p>実績：6回</p>	

担当または窓口 流通・ブランド戦略課	施策 世代（子ども）、家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	
取組の内容	<p>京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。</p> <p>目標：4回</p>	
取組の実績 評価 A	<p>京都市、乙訓、綴喜、中丹3市等で活動する生活研究グループ地域連絡協議会が各地の中学生や地域住民を対象に、地元特産品の栽培体験や郷土料理講習会などの食育活動を定期的で開催※し、地元農産物の美味しさや郷土の味の魅力に気づいてもらえるきっかけ作りに努めました。</p> <p>また、各地域に保持されている技能登録・匠認定者の講師活動や伝承活動の場づくりを行い、啓発・PRに努めました。</p> <p>※実績：61回</p>	

担当または窓口	流通・ブランド戦略課	施策	高齢者 京都ならではの	目標
取組事項名	農山漁村伝承技能の登録・認定			
取組の内容	<p>農山漁村地域において長年にわたり培われ、行われていきた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録している。</p> <p>その中で、極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページで紹介します。</p> <p>目標：1回</p>			
取組の実績 評価A	<p>約700名の技能登録者の中から、京の伝統野菜「堀川ごぼう」や「九条ねぎ」、「京たけのこ」の高品質生産技術や肉用牛の飼育（繁殖）や子牛生産技術など、特に優秀な技能を有する6人の「農の匠」と1人の「海の匠」を認定（11/25）し、京都府ホームページで紹介しました。</p> <p>実績：1回</p>			


担当または窓口	農産課	施策	世代（若い世代）	目標
取組事項名	「京都米の良さ発見」提案事業の実施			
取組の内容	<p>（一社）京都府米食推進協会が、京都の大学、短大、専門学校で学ぶ学生を対象に京都米全般に関する事業提案及び米をはじめとする地域の特産物の特徴や食文化に関する調査研究を通じて、学生に京都米の良さを再発見してもらうとともに、その提案を活用して府民に対して京都米や地域の特産物の知識を広げる活動を行います。</p>			
取組の実績 評価B	<p>年度途中に当協会が一般社団法人から任意団体に移行したことに伴い、標記事業が今年度から実施されないこととなりました。</p>			

担当または窓口	農産課	施策	ライフスタイル	目標
取組事項名	京都米提供店の登録			
取組の内容	<p>（一社）京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録し、広く府民に京都米を知らせます。また、登録章の交付式において、消費者、生産者、流通に関わる団体が意見交換を行います。</p>			
取組の実績 評価A	<p>京都米提供店の登録は、今年度新規に2店舗加わり、177店舗となりました。登録章の交付式については、今年度から実施を取りやめています。</p>			





担当または窓口	農産課	施策	世代(子ども)	目標
取組事項名	茶育の推進			
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催(山城広域振興局)や小学校等での「宇治茶ふれあい教室」(茶協同組合)による茶育を行います。			
取組の実績 評価 A	<p>・「キッズ茶ムリエ」を5回開催し、延べ288人参加が参加しました。</p> <p>「宇治茶ふれあい教室」は、保育園、小学校、支援学校等の児童生徒に宇治茶のことを楽しく学んでもらい、宇治茶文化の理解促進を図るため、次の内容を組み合わせ、今後も開催します。</p> <p>①茶香服 ②お茶の飲み比べ ③お茶の淹れ方 ④ビデオ鑑賞 ⑤宇治茶・茶種・効能⑥仕上げ加工実演 ⑦石臼体験 ⑧茶摘み ⑨ホットプレート製茶</p> <p>〈「宇治茶ふれあい教室」に参加した先生の声〉</p> <p>実際にお茶を飲んだり、淹れたりと自分で体験することで感じるものが多くあり楽しかったです。きっと子供たちもこうやって体験することは教材に向かう上で、より興味を持って向かえるのだろうなということを実感できました。また、さまざまなお茶を味わうことで宇治茶の深みを知ることもできました。</p> <p style="text-align: center;">キッズ茶ムリエの様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			




担当または窓口	農産課	施策	ライフスタイル	目標
取組事項名	環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催			
取組の内容	府庁旧本館こだわりマルシェ他で、環境にやさしい農業への理解を深めるため、エコファーマーと消費者との交流会を開催します。 目標：5回以上			
取組の実績 評価 A	府庁旧本館こだわりマルシェ 26、同 27、京都府農林水産フェスティバル、京野菜フェスティバル、健康づくりフェスティバルにおける農産物の販売を通じて、エコファーマーが消費者と交流することで、環境にやさしい農業への理解増進に努めました。			
実績：6回				

担当または窓口	水産課	施策	世代(子ども)	目標
取組事項名	水産教室の開催			
取組の内容	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府職員が各種学校へ出向き、講義を行います。			
取組の実績 評価A	<p>水産事務所において、京都府の海や魚、漁業等について紹介する水産教室を開催しました。</p> <p>平成29年6月1日(木) 福知山市立上川口小学校5年生20名、教員3名          平成29年7月13日(木) 舞鶴市立明倫小学校5年生60名、教員5名          平成29年9月8日(金) 京丹後市立大宮南小学校5年生18名、教員2名          平成29年11月17日(金) 京都府立加悦谷高等学校1年生17名、教員1名</p>			

担当または窓口	水産課	施策	世代(全世代)	目標
取組事項名	都市漁村交流の促進			
取組の内容	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。			
取組の実績 評価A	<p>都市漁村交流事業を行う漁業会社等に対し、集客を見込めるPR手法の助言等を行いました。</p> <p>蒲口水産物による「漁港めし」          平成29年4月16日～10月1日(うち73日実施)、利用者6,566人          *京阪神方面からの利用者あり。</p>			

担当または窓口	商業・経営支援課	施策	世代(高齢者)	目標
取組事項名	高齢者等への買い物支援			
取組の内容	商店街団体等が地域コミュニティの核となるような特色づくりに取り組む事業を支援する中で、地域の生活支援商店街など、高齢者等の買い物弱者の買い物の利便性を高め、生活の質の向上を図るとともに商店街の振興につながる事業を支援します。			
取組の実績 評価A	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者向けの通販用カタログを作成し、高齢者福祉施設等に配布し、各店舗が注文を受け、配達する取り組みづくりを支援しました。(南丹管内)</li> </ul>			





担当または窓口 <u>ものづくり振興課</u>	施策 <u>健康増進、京都ならではの</u>	目標
取組事項名	地域商品の価値向上研修会の開催（実施団体：食品産業協会）	
取組の内容	<p>食品製造業者向けに地域食材を活かした食品の高付加価値化と商品の普及啓発の手法に関する研修会を行い、“地域商品の価値向上”を目指し、伝統食品の普及、食品表示の適正化、新商品の展開へ繋がります。</p> <p>目標：1回</p>	
取組の実績 評価A	<p>実績：1回</p> <p>○日時 平成29年6月21日（水） ○場所 京都ホテルオークラ ○内容 地域食材を活かした高付加価値商品の展開について ○講師 (株)三越伊勢丹 食品・レストラン統括部付担当部長 村山慎一氏 ○参加者 食品製造業者79名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	

担当または窓口 <u>ものづくり振興課</u>	施策 <u>家庭</u>	目標
取組事項名	農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）	
取組の内容	<p>農林漁業者・関係団体の参加を促し、農林水産物や加工品等の展示、試食、販売を通し、消費者との交流を図ることで、食への意識向上を図ります。</p> <p>目標：1回（毎年実施）</p>	
取組の実績 評価A	<p>実績：1回</p> <p>○日時 平成29年11月25日（土）、26日（日） ○場所 京都府パルスプラザ ○内容 出展を通じて、京ブランド食品「京都吟味百撰」のPRを実施 来場者は、約43,000人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	

担当または窓口 海と星の見える丘公園

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、  
健康増進、家庭、リワスタイル、京都ならではの



目標

取組事項名	郷土料理作り
取組の内容	体験プログラムの一つとして実施。講師は地域の方。その際に生き物と食物との循環についての学習や郷土料理について学習したり、魚さばきなど地域の調理方法を教えます。 ☆小学校での利用などで年3回程度
取組の実績 評価A	地元の方と小学生や団体との交流を図りつつ、地元の魚や海藻をつかった郷土料理や丹後のバラ寿司、地元産そば粉でのそば打ちなどで作り方と味を伝えることができました。 実施回数：4回  

担当または窓口 海と星の見える丘公園

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、  
家庭、リワスタイル、京都ならではの



目標

取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり
取組の内容	小学校利用や親子での利用。「おくどさん」でご飯を炊き、公園内とれた木を薪にして燃料として使います。
取組の実績 評価A	単なるおくどさん体験ではなく、森からの材料集めや火のつけ方なども教えることで、森の活用法を伝えることができました。 実施回数：16回  

担当または窓口 海と星の見える丘公園

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、  
家庭、京都ならではの



目標

取組事項名	石窯パン・ピザ作り
取組の内容	親子で石窯によるパン・ピザ焼きを体験。京都府産小麦を使い、フードマイレージの話などもします。
取組の実績 評価 A	親子の行事だけでなく、シニア層の団体なども利用いただきました。 実施回数：6回  

担当または窓口 海と星の見える丘公園

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、  
家庭、京都ならではの

目標

取組事項名	巨大パエリア作り
取組の内容	アースデイ丹後のイベントの一つ。巨大な鍋でパエリアを作る。燃料は公園内でとれた薪を使用。材料は近くの海で獲れた魚介類を使います。
取組の実績 評価 A	「あるもので、あるように」をテーマに掲げた 28 年度のアースデイ丹後。丹後にあるお米、魚介を中心に大勢の方に味わっていただく機会となりました。味わうのみではなく、出来上がるまでの薪を使った調理法、時間と共に完成していく様子を見ることも食育の一つになりました。 実施回数：1回  

第3次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
1	実践型食育を実施している小・中学校の割合（新規）	目標	—	65%	80%			100%
		達成状況	57%	73%	92%			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
2	「お弁当の日」を実施する府内の学校の数（新規）	目標	—	22校	24校			30校
		達成状況	20校	22校	20校			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;食育推進フォーラム（11月6日開催）等の教職員が参集する機会に「お弁当の日」のリーフレットを配付し、取組例を紹介しました。実施校数が減少した理由として、食育の新しい取組を開始したことや、これまでにお弁当の日等の活動を行ったことで児童生徒の課題への効果がみられたため取組を終えたことなどが考えられます。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
3	学校給食への地元農林水産物の供給品目数の割合	目標	—	22%	22%			30%
		達成状況	18%	16.4%	16.5%			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
4	大学、企業、老人施設等の食堂で地元農林水産物を多く使用する「たんとおあがり京都府産施設」の増加（新規）	目標	—	157施設	166施設			200施設
		達成状況	145施設	154施設	152施設			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;新たに5施設（病院1施設、福祉施設4施設）を認定しました。認定施設数が減少した理由として、天候不良で農産物の価格が高騰したことにより認定基準を満たさなくなった施設が多かったことなどが考えられます。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
5	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催（新規）	目標	—	年5回	年5回			年5回
		達成状況	—	年5回	年6回			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;食品表示等に関する知識等を取得することで府民の健康増進につなげたいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;平成32年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい知識を提供するために、講習会等を開催します。</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								



項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
6	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり 応援店」の増加（新規）	目標	—	550店舗	680店舗			800店舗
		達成状況	567店舗 <small>食情報提供店</small>	753店舗 <small>食情報提供店含む</small>	766店舗 <small>食情報提供店含む</small>			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー ③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」を増加させることで、府民の健康増進につなげたいと考えています。（健康福祉部健康対策課）〔第4次京都市食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt; 引き続き、新規加入・新制度への移行を働きかけていく。</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
7	食の安心・安全府民大学の開講（新規）	目標	—	年6回	年6回			年6回
		達成状況	—	年14回	年6回			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;食の安心・安全に関すること、調理に関すること、食を選ぶことに関すること、京都の食文化に関することなど、食に関することを総合的に学べる機会を提供することで、家庭の食育推進など、複合的な効果を発揮したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）〔第4次京都市食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;特に忙しい子育て世代に対して、食材を選ぶことや、調理方法の知識を簡単に入手できるように、Youtubeを活用した『5分間の講義（映像Wikipedia）』を提供します。</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
8	朝食を毎日食べる府内小学生の割合（6年生）	目標	—					95%
		達成状況	87%	86.2%	85.8%			
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合（3年生）	目標	—					90%
		達成状況	82%	81.1%	81.3%			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;朝食は、極めて重要な働きをしており、とりわけ、子どもたちが朝食を欠食しないよう家庭に働きかけていきたいと考えています。（教育庁学校教育課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
9	食のみらい宣言（食育宣言）を行い、健全な食生活をおくる府民	目標	—	2,000人	4,000人			10,000人
		達成状況	—	2,149人	4,228人			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;単独世帯の増加など、様々なライフスタイルがあり、家庭だけでなく、府民がつながり、個々の自発的な食育活動につなげたいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）〔第4次京都市食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;実践活動表彰において171点の応募の中から19作品を選出し、11月の農林水産フェスティバルにて表彰式を開催した。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
10	食事の宅配事業を実施する「京野菜ランド」の数	目標	—	1箇所	1箇所			5箇所
		達成状況	—	0箇所	1箇所			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;今後の少子高齢化の進展を踏まえれば、自ら調理できない方の増加も見込まれ、地産地消を前提とした良質な食事を提供できる環境整備が必要と考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								



項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
11	京都における季節の行事食などの研修会の実施	目標	—	年4回	年4回			年4回
		達成状況	—	年7回	年4回			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;和食のユネスコ無形文化遺産登録に代表される京都の食文化を積極的に後世に残していく必要があると考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;引き続き、実践型の研修会を中心に実施していく。</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
12	「きょうと食いく先生」の授業数の増加	目標	—	160授業	220授業			300授業
		達成状況	108授業	202授業	267授業			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;食に関するエキスパートである「きょうと食いく先生」が持つ、知識や経験を子どもたちや府民に広げることにより、京都の食文化の裾野を広げていきたいと考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt;</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;2月に養成講座を開催した。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
13	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	目標	—	年15,000個	年15,000個			年15,000個
		達成状況	年6,285個	年15,004個	年25,351個			
<p>&lt;目標設定の考え方&gt;「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を広めることで、京都の食文化の継承など、複合的な効果を発揮したいと考えています。(健康福祉部健康対策課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p>&lt;平成29年度の取組予定&gt; 引き続き、新規認定への働きかけ、学会弁当採用への営業、イベント会場での販売等、普及に働きかけていく。</p> <p>&lt;平成29年度の取組実績&gt;</p>								